

政策	22 生活環境の充実					
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有
対象	市民全般					
施策が目指す姿	種別に応じた適切な規模・機能を有する公園緑地が整備され、地域の主体的取組みによる既存公園の維持管理や、いつまでも安全・安心に利用できる長寿命化の取組みを進める。墓地及び火葬の需要に対応した墓園の整備や既存墓園の維持管理、斎場の再整備を図る。定住を促す市営住宅の適正な維持・保全や利便性を高める生活道路の整備が進められるほか、空き家等の適正管理や有効利用を図る。					
成果指標	居住環境の整備の市民満足度・・・5年間(H30～H34)60%(現状値55.1%) 斎場墓地に対する満足度・・・5年間(H30～H34)60%(現状値57.7%) 道路の整備・保全の市民満足度・・・5年間(H30～H34)55%(現状値45.8%) 市道の舗装率・・・5年間(H30～H34)89.2%(現状値85.6%) 市道の改良率・・・5年間(H30～H34)65.8%(現状値65.4%)					
目標達成状況		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標1 [%]	予定			60.00	
		実績				
	成果指標2 [%]	予定			60.00	
		実績				
	成果指標3 [%]	予定			55.00	
		実績				
	成果指標4 [%]	予定	85.60	86.50	87.40	88.30
実績		86.20	86.20	86.61		
トータルコスト (千円)	予定	2,308,114	2,130,485	2,469,697	0	0
	実績	2,158,797	2,005,979	2,469,697	0	0
内部評価	貢献度	基本方針「心地よく暮らせるまちづくり」を推進するため、公園、斎場、墓園、市営住宅、生活道路等の整備、維持管理は本施策指標である市民満足度の重要な要素となる。				
	達成状況	各単位施策の成果指標は、概ね目標達成ペースで進捗している。新斎場については、総合評価一般競争入札を実施し、落札者を決定、PFI事業契約を締結した。				
	課題	公園施設、市政住宅、生活道路等の維持管理を適正に継続していく。新斎場については、建設する設備の性能確保のため、各業務の段階でモニタリングを確実に実施する。				
	取組方針	各施設の現状把握及び空き家の情報収集に努め、計画的な整備、補修、管理を実施する。新斎場については、整備スケジュールに合わせ、関連事業をスムーズに進める。				
外部評価	「生活環境の充実」を推進するにあたって、公園、斎場、墓園、市営住宅、生活道路を挙げているのは良いが、昨今のコロナ禍の状況を鑑み「医療体制の充実・維持管理」を追加することを考慮願いたい。 公園については、バリアフリー化の推進及び定期的な維持管理の継続願う。また、子どもの安全面を考えた「見守り」を地域の自治会、PTA等に依頼することを一考願いたい。 衛生環境については、墓地のコンパクト化など利用者の負担軽減を図りつつ、墓地は永久に受け継ぐものではなく使用期限付きで借用権を得るものという発想を取り入れた対応を願いたい。また、新斎場の情報を早く市民に届けてほしい。 住環境の維持・向上については、街なかにある空き家は特に景観の低下に結びつくので、早急な対策を願いたい。また、地域の住環境整備を一体的に推進するためには、自治会同士の交流、連絡会議の様な機会を設けられると良いので検討願う。					
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称			トータルコスト(千円)	達成度
	2201	公園緑地の維持・整備			614,572	100
	2202	衛生環境の充実			731,393	100
	2203	住環境の維持・向上			1,123,732	100

基本 施策評価表 補表

施策	22 生活環境の充実		
区分	妥当性	妥当	施策の目的を達成するために有効である。
	コスト削減の余地	有	コスト縮減のため、効率的な維持管理につとめる。
	受益者負担	適正	受益者負担については、適正である。
	上位貢献度	有効	施策の目的を達成するために有効である。
	類似事業の有無	無	代替事業はない。
	成果向上の余地	有	適切な事業実施により、適正な維持管理が見込まれる。
内部評価	貢献度	基本方針「心地よく暮らせるまちづくり」を推進するため、公園、斎場、墓園、市営住宅、生活道路等の整備、維持管理は本施策指標である市民満足度の向上の重要な要素となる。	
	達成状況	各単位施策の成果指標は、概ね目標達成ペースで進捗している。 新斎場については、総合評価一般競争入札を実施し、落札者を決定、PFI事業契約を締結した。 公園の健康づくりの場としての環境整備は、市民ニーズを的確に把握し検討を継続する。 空き家対策は、費用対効果の検証を継続する。	
	課題	経年劣化が進行した公園施設、市営住宅、生活道路等の維持管理を、適正に継続していく必要がある。 新斎場については、建設する設備の性能を確保するため、各業務の段階においてモニタリングを確実に実施する必要がある。	
	取組方針	公園施設、生活道路、市営住宅等の、老朽化の現状把握及び空き家等の情報収集に努め、計画的な整備、補修、管理を実施する。 また、新斎場については、整備スケジュールに合わせ、関連事業をスムーズに進める。	

基本施策評価表

基本方針Ⅱ 心地よく暮らせるまちづくり
 基本施策Ⅱ 生活環境の充実

		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標達成状況	成果指標5	予定	65.40	65.50	65.60	65.70	65.80
	[%]	実績	65.50	65.60	66.06		
	成果指標6	予定					
	[]	実績					
	成果指標7	予定					
	[]	実績					